

# S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

〈月報〉  
平成19年12月  
(第49～52週)

発行年月日:平成20年(2008年)1月29日  
発行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター  
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 19年				平成 18年				感染症 類型	疾 病 名	平成 19年				平成 18年			
		1～11月		12月		1～11月		12月				1～11月		12月		1～11月		12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	東部ウマ脳炎 <sup>(*)</sup>	0	0	0	0	-	-				
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0					
	痘そう	0	0	0	0	0	0	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0					
	南米出血熱 <sup>(*)</sup>	0	0	0	0	-	-	日本紅斑熱	0	89	0	9	0	45					
	ペスト	0	0	0	0	0	0	日本脳炎	0	9	0	1	0	7					
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0					
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0					
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	鼻疽 <sup>(*)</sup>	0	0	0	0	-	-					
	結核 <sup>(*)</sup>	163	17,495	15	2,656	-	-	ブルセラ症	0	1	0	0	0	5					
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎 <sup>(*)</sup>	0	0	0	0	-	-					
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症 <sup>(*)</sup>	0	0	0	0	-	-					
	コレラ	0	12	0	0	1	47	発しんチフス	0	0	0	0	0	0					
三類	細菌性赤痢	12	432	0	18	26	483	ポツリヌス症	0	3	0	0	0	2					
	腸管出血性大腸菌感染症	55	4,474	0	112	54	3,910	マラリア	1	49	0	3	0	61					
	腸チフス	0	44	0	3	0	72	野兔病	0	0	0	0	0	0					
	バラチフス	1	19	0	3	0	24	ライム病	0	10	0	2	0	13					
四類	E型肝炎	1	50	0	4	2	70	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0					
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	リフトバレー熱 <sup>(*)</sup>	0	0	0	0	-	-					
	A型肝炎	1	141	0	13	21	316	類鼻疽 <sup>(*)</sup>	0	0	0	0	-	-					
	エキノコックス症	0	15	0	1	0	20	レジオネラ症	7	599	1	56	11	508					
	黄熱	0	0	0	0	0	0	レプトスピラ症	0	27	0	7	0	24					
	オウム病	0	29	0	1	0	22	ロッキー山紅斑熱 <sup>(*)</sup>	0	0	0	0	-	-					
	オムスク出血熱 <sup>(*)</sup>	0	0	0	0	-	-	五類	アメーバ赤痢	14	709	1	72	8	738				
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	ウイルス性肝炎	2	214	0	17	0	275					
	キャサヌル森林病 <sup>(*)</sup>	0	0	0	0	-	-	急性脳炎	2	204	0	12	1	160					
	Q熱	0	5	0	2	0	2	クリプトスポリジウム症	0	6	0	0	0	14					
	狂犬病	0	0	0	0	0	2	クロイツフェルト・ヤコブ病	4	132	0	16	0	177					
	コクシジオイデス症	0	3	0	0	0	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	90	1	6	6	107					
	サル痘	0	0	0	0	0	0	後天性免疫不全症候群	9	1,322	0	127	8	1,301					
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	ジアルジア症	1	49	0	7	1	87					
	西部ウマ脳炎 <sup>(*)</sup>	0	0	0	0	-	-	髄膜炎菌性髄膜炎	0	15	0	2	0	14					
	ダニ媒介脳炎 <sup>(*)</sup>	0	0	0	0	-	-	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0					
	炭疽	0	0	0	0	0	0	梅毒	2	656	0	58	4	625					
	つつが虫病	0	220	0	150	0	397	破傷風	0	87	0	1	1	115					
	デング熱	1	84	0	5	0	57	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0					
								バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	73	0	7	0	79					

### 滋賀県における全数報告 感染症の概要(12月)

#### <結核>

性別:男性 10名、女性 5名  
 類型:患者 13名  
 疑似症患者 1名  
 無症状病原体保有者 1名  
 病型:肺結核 11名  
 その他の結核 4名

#### <レジオネラ症>

男性・54歳  
 推定感染経路は水系感染で、推定感染地域は日本国内です。

#### <アメーバ赤痢>

男性・52歳  
 推定感染経路は不明で、推定感染地域は日本国内です。

#### <劇症型溶血性レンサ球菌感染症>

女性・97歳  
 推定感染経路は創傷感染で、推定感染地域は日本国内です。

\*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含む

\*2 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含む

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

### 12月の概要

#### <インフルエンザ>

第49週(12/3～12/9)には、県全体の定点当たり患者数が1.38となり流行開始の基準(1.00)を上回ったため、インフルエンザ流行期となりました。この流行期突入は例年よりかなり早くなっています(下記グラフ参照)。各保健所管内とも増加傾向を示し、第52週(12/24～12/30)には高島の定点当たり患者数が15.00と非常に多くなっていました。

#### <小児科定点疾患>

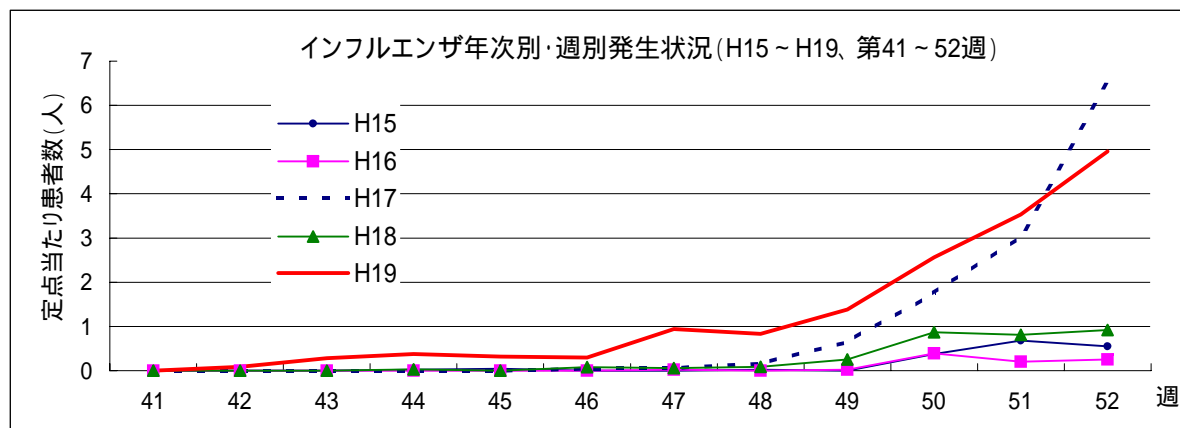
各疾患の発生状況については疾病別定点当たり患者数のグラフに示すとおりですが、咽頭結膜熱は高島で、感染性胃腸炎は長浜で、水痘は甲賀、彦根、長浜および高島でやや多くなっていました。特に、感染性胃腸炎については第50週(12/10～12/16)における県全体の定点当たり患者数が20.31となり警報開始基準値(20.0)を超えたため、県下全域に警報の発令が出されました。

#### <眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である流行性角結膜炎は先月より減少し、草津および長浜からの報告があったのみです。急性出血性結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患であるマイコプラズマ肺炎は先月より増加し、東近江からの報告が多くなっていました。無菌性髄膜炎、細菌性髄膜炎、クラミジア肺炎および成人麻しんの報告はありませんでした。

#### <各定点の対象疾患>

#### インフルエンザ年次別・週別発生状況

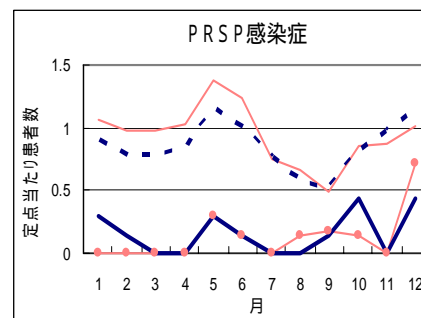
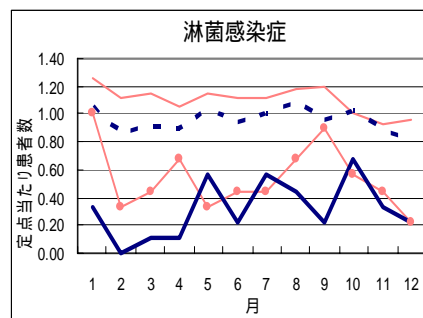
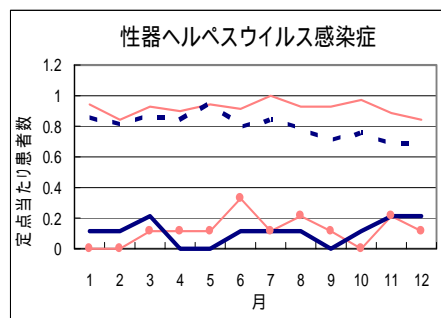
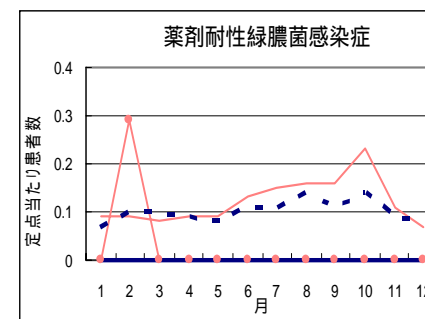
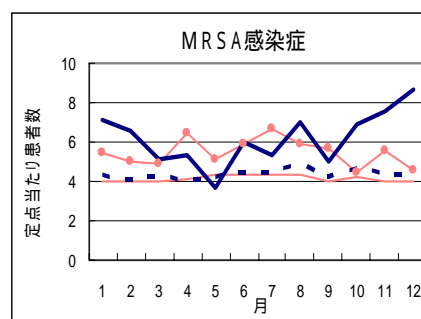
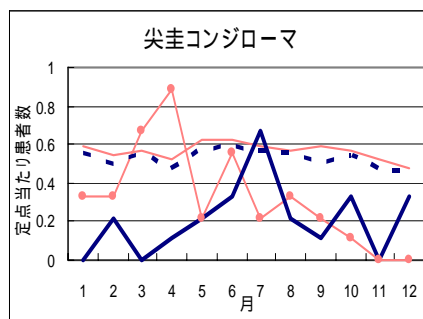
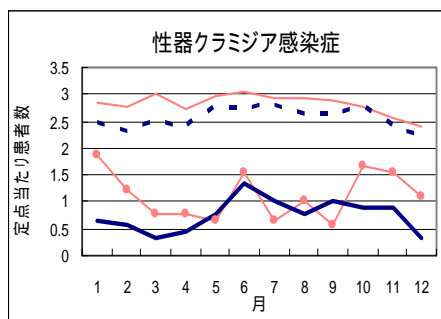


定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳、突発性発しん、ヘルパンギーナ、風しん(三日はしか)、麻しん、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、成人麻しん、クラミジア肺炎(オウム病を除く)

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>) において公表されています。

### 3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成19年12月)

疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	5	3	4	7	12	9	7	9	8	8	3	81
	定点当たり	0.67	0.56	0.33	0.44	0.78	1.33	1.00	0.78	1.00	0.89	0.89	0.33	9
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	1	1	2	0	0	1	1	1	0	1	2	2	12
	定点当たり	0.11	0.11	0.22	0	0	0.11	0.11	0.11	0	0.11	0.22	0.22	1.32
尖圭コンジローマ	罹患数	0	2	0	1	2	3	6	2	1	3	0	3	23
	定点当たり	0	0.22	0	0.11	0.22	0.33	0.67	0.22	0.11	0.33	0	0.33	2.54
淋菌感染症	罹患数	3	0	1	1	5	2	5	4	2	6	3	2	34
	定点当たり	0.33	0	0.11	0.11	0.56	0.22	0.56	0.44	0.22	0.67	0.33	0.22	3.77
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	50	46	36	37	26	42	37	49	35	48	53	61	520
	定点当たり	7.14	6.57	5.14	5.29	3.71	6.00	5.29	7.00	5	6.86	7.57	8.71	74.28
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	2	1	0	0	2	1	0	0	1	3	0	3	13
	定点当たり	0.29	0.14	0	0	0.29	0.14	0	0	0.14	0.43	0	0.43	1.86
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	定点当たり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



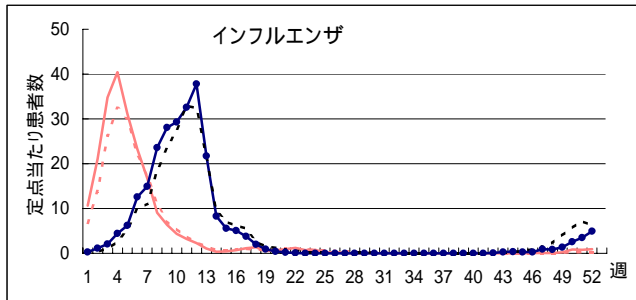
戻る

H18 { 滋賀 (赤丸) 全国 (赤線)  
H19 { 滋賀 (青丸) 全国 (青線)

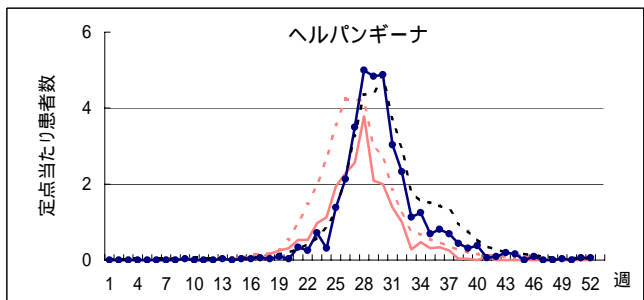
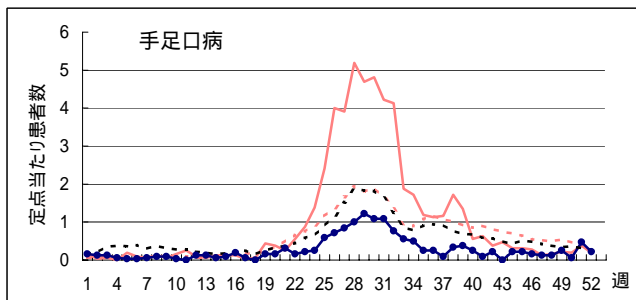
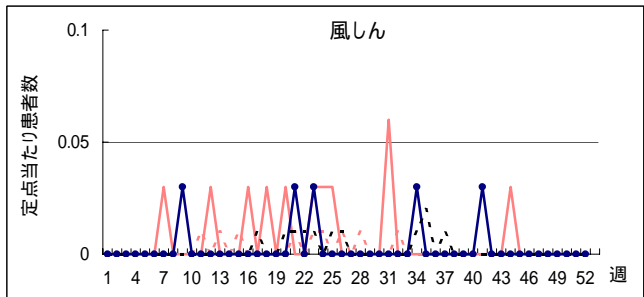
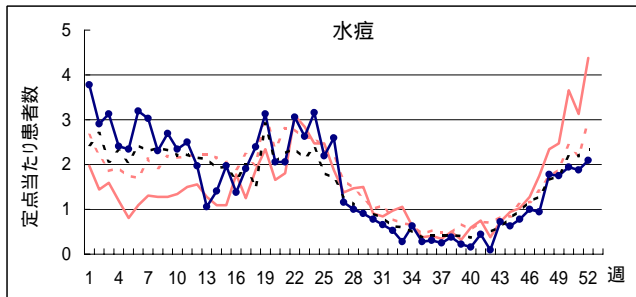
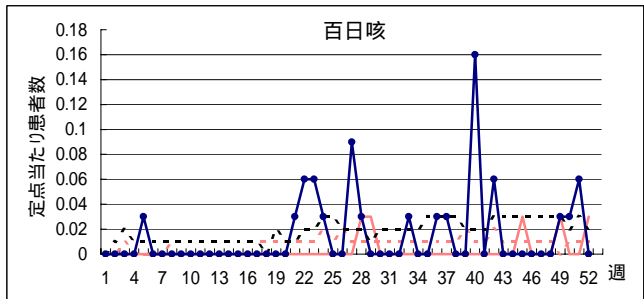
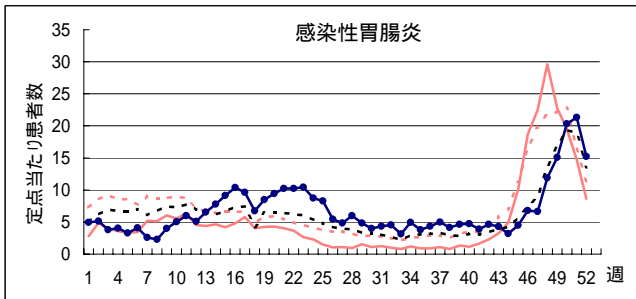
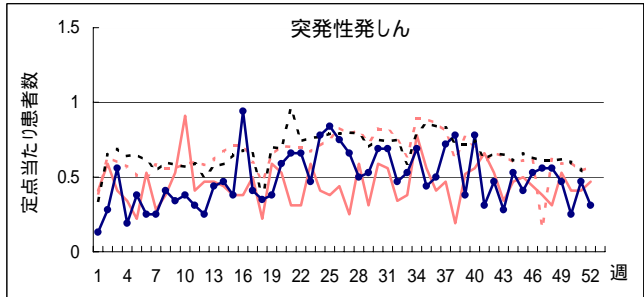
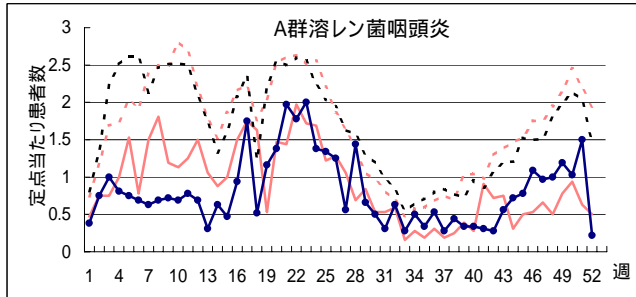
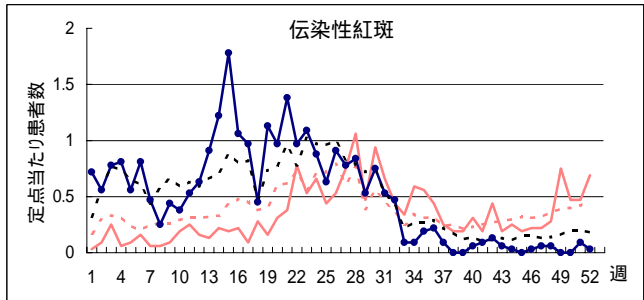
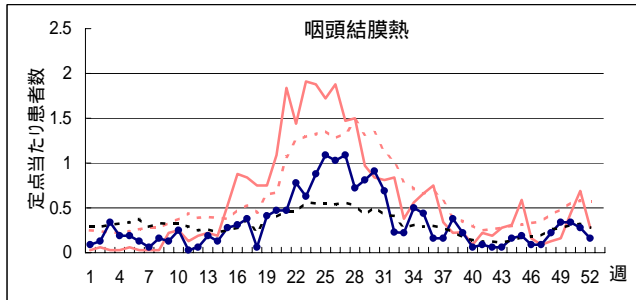
MRSA: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌  
PRSP: ペニシリン耐性肺炎球菌



# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第52週、H19.1.1～H19.12.30)



H18 { 滋賀 (solid red line)  
 全国 (dotted red line)  
 H19 { 滋賀 (solid blue line)  
 全国 (dotted blue line)



# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第52週、H19.1.1～H19.12.30)

H18 〔 滋賀 ————  
 全国 - - - - -

H19 〔 滋賀 ●—●—●—  
 全国 - - - - -

